

2020 年度決算状況

一般会計決算

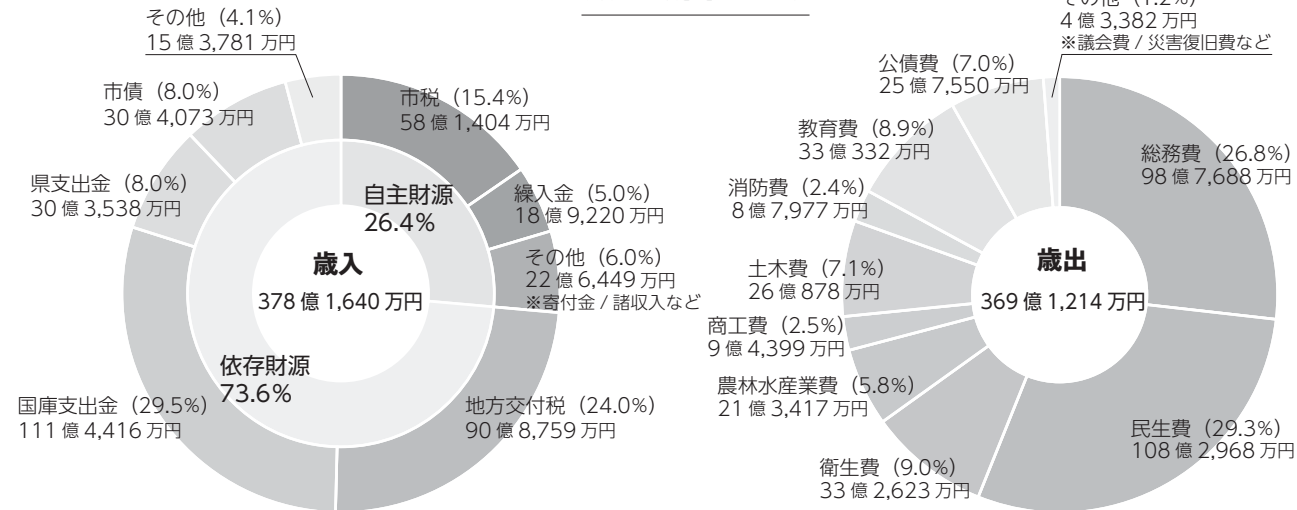
市の一般会計の歳入総額は 378 億 1,640 万円、歳出総額は 369 億 1,214 万円となり、差引額は 9 億 426 万円。

この額から翌年度への繰越財源 1 億 520 万円を除くと、実質収支は 7 億 9,906 万円となり、2019 年度の実質収支と比べると 8,456 万円の増となりました。

2020 年度は、新型コロナウイルス対策経費（約 69 億円）により、2019 年度と比べ決算規模が大きくなっています。

区分	2020年度	2019年度	増減額
歳入	378億 1,640万円	304億 2,191万円	73億 9,449万円
歳出	369億 1,214万円	294億 3,131万円	74億 8,083万円
差引	9億 426万円	9億 9,060万円	△8,634万円
翌年度繰越財源	1億 520万円	2億 7,610万円	△1億 7,090万円
実質収支	7億 9,906万円	7億 1,450万円	8,456万円

歳入歳出の内訳



歳出内訳	事業内容	主な使い道
総務費	市の運営事務など	庁舎など財産管理、自治会/地域の活性化事業、税務事務、特別定額給付金
民生費	子ども、高齢者等への福祉サービス	高齢者/障がい者への支援、生活保護費、児童手当、ひとり親世帯等臨時特別給付金
衛生費	市民の健康維持/健康増進	ゴミ/し尿処理、子ども医療費助成、各種予防接種、新型コロナウイルスワクチン接種
農林水産業費	農林水産業の振興	農道/林道の整備、森林整備事業、農業施設の整備、農業/林業/水産業緊急支援
商工費	商工業の振興、観光業の振興	商工業/観光業の振興、プレミアム商品券、飲食業/観光業/中小企業緊急支援
土木費	道路、公園、住宅の整備など	市道、公園、公営住宅の整備/維持管理
消防費	消防、救急業務	消防業務、救急業務、防災対策事業
教育費	教育や生涯学習の推進	市立学校/幼稚園の維持管理、図書館の管理運営、タブレット購入 (GIGA スクール)
公債費	借金の返済	市の借金 (市債) の返済費用
その他	議会活動、災害復旧など	議会運営、災害復旧事業

※上表の太字は、新型コロナウイルス対策事業です。

特別会計決算

会計名	歳入額	歳出額	差引額	主な事業内容
国民健康保険特別会計	75億 3,422万円	75億 2,598万円	824万円	自営業者などが加入する医療保険の運営
後期高齢者医療特別会計	7億 4,114万円	7億 4,059万円	55万円	75歳以上の高齢者等の医療保険の運営
介護保険特別会計	62億 1,439万円	60億 9,559万円	1億 1,880万円	介護保険の運営
交通災害共済特別会計	1,768万円	462万円	1,306万円	交通事故の見舞金を支払う共済制度の運営
地方卸売市場特別会計	1,668万円	1,668万円	-	出水市公設地方卸売市場の施設管理

【用語解説】

- 一般会計・・・福祉・教育・都市整備等、行政運営の基本的な経費に、市税などを主な財源として計上している会計。
- 特別会計・・・特定事業の収入をその事業の支出に充て経理を行う会計で、一般会計とは切り離しています。
- 企業会計・・・使用料や診療報酬等、その事業における収入で支出をまかなう会計で、会計ごとに独立採算が原則。

出水市 決算報告

検索

財政課 (63-4025)

企業会計決算

水道事業会計	2020年度	2019年度
収益的収入	収入 8億 4,317万円	8億 2,208万円
および支出	支出 7億 2,124万円	7億 3,556万円
資本的収入	収入 1億 6,259万円	1億 5,611万円
および支出	支出 4億 8,383万円	5億 1,028万円
当年度純利益	1億 350万円	6,611万円
当年度未処分利益剰余金	1億 6,761万円	1億 3,022万円
現金預金期末残高	11億 2,296万円	10億 4,798万円

病院事業会計	2020年度	2019年度
収益的収入	収入 53億 9,188万円	49億 7,697万円
および支出	支出 51億 1,836万円	45億 9,528万円
資本的収入	収入 6億 6,610万円	5億 5,942万円
および支出	支出 8億 3,741万円	7億 2,047万円
当年度純利益	2億 7,170万円	3億 8,023万円
当年度未処分利益剰余金 (当年度繰越欠損金)	12億 4,339万円	15億 1,509万円
現金預金期末残高	5億 4,202万円	4億 2,717万円

財産の状況

区分	2020年度末現在高	2019年度末現在高
土地 (うち山林)	3,273万 7,053㎡ (2,853万4,895㎡)	3,281万 4,105㎡ (2,853万4,895㎡)
建物	30万 7,033㎡	32万 309㎡
有価証券	4,588万円	4,588万円
出資金	1億 382万円	1億 382万円
貸付金	15億 7,458万円	15億 7,461万円
車両	163台	165台
基金	181億 9,642万円	193億 3,873万円

健全化判断比率

地方公共団体の財政破綻を未然に防ぐため、2007年6月に財政の健全性をチェックする「地方公共団体の財政の健全化に関する法律 (財政健全化法)」が制定され、2007年度決算から財政の健全化に関する指標 (健全化判断比率、資金不足比率) を作成し、公表しています。

指標 / 年度	2020年度	2019年度	用語説明と解説
実質赤字比率	-	-	一般会計の収支が赤字になる場合に、この赤字額が通常見込まれる収入に占める割合です。本市では、歳入歳出の差引額がプラスなので、算出されていません。
連結実質赤字比率	-	-	実質赤字比率を、特別会計と企業会計を含めた全ての会計をもとに算出した割合です。本市では、全会計において実質赤字が生じていないので、算出されていません。
実質公債費比率	7.9%	8.3%	借金返済のためのお金が、通常見込まれる収入に占める割合で、過去3年間を平均して算出する比率です (数値が低いほど資金繰りの危険度が低いことを示します)。
将来負担比率	-	-	将来負担しなければならないお金が、通常見込まれる収入に占める割合です。本市では、基金 (預貯金) 積立額の増加などにより 2013 年以降算出されていません。
資金不足比率	-	-	公営企業会計ごとに算出され、資金不足額が料金収入に占める割合です。本市では、各公営企業会計に資金不足が生じていないので、算出されていません。

主な財政指標

指標 / 年度	2020年度	2019年度	用語説明と解説
財政力指数	0.42	0.42	地方公共団体の財政基盤の強さを示すもので、数値が高いほど財政力が強いことを示します。
経常収支比率	93.1%	94.9%	市税、地方交付税などの経常的な収入が、どの程度人件費、扶助費、公債費などの経常的な支出に充てられたかを示す割合で、数値が低いほど財政に自由度があることを示します。

下水道事業会計	2020年度	2019年度
収益的収入	収入 18億 9,079万円	-
および支出	支出 18億 3,510万円	-
資本的収入	収入 7億 6,119万円	-
および支出	支出 11億 3,211万円	-
当年度純利益	6,117万円	-
当年度未処分利益剰余金	6,117万円	-
現金預金期末残高	2億 1,904万円	-

【用語解説等】

収益的収支・・・公営企業の経営活動を行うための経常的な収支。
資本的収支・・・公営企業の施設・設備を整備するための収支。
当年度未処分利益剰余金・・・前年度繰越利益剰余金 (または繰越欠損金) に当年度の純利益 (または純損失) 等を加減した額。

※当年度純利益には消費税が含まれていないため、収益的収入および支出の差額と当年度純利益は一致しません。

※下水道事業は、3つの下水道特別会計が2020年度から企業会計へ移行しています。

※病院事業に関する詳しい内容は、出水総合医療センター広報紙【ひまわり】に掲載予定ですのでご覧ください。

市債の状況

会計名	2020年度末現在高	2019年度末現在高
一般会計	247億 352万円	241億 1,848万円
地方卸売市場特別会計	4,594万円	6,082万円
企業会計		
水道事業	36億 2,377万円	37億 3,677万円
下水道事業	115億 8,452万円	122億 6,661万円
病院事業	15億 9,189万円	17億 3,768万円
合計	415億 4,964万円	419億 2,036万円